



KAI INDIA ACHHI AADAT CAMPAIGN



KAI GROUP

- A leading Japanese group established in 1908 (Legacy of over 114 Years)
- Product available in over 100 countries
- 366 Patents & 96 Products with design award
- Over 100 million knives sold worldwide
- Over 250 million nail clipper sold worldwide
- Over 1.4 billion razors sold worldwide





KAI INDIA

- Foray into Indian market in year 2012
- Manufacturing facility spanned over 30,000 SQMT area in Neemrana, Rajasthan
- Categories : Razors, Knives, Nail Clippers & Beauty Range
- Pan India presence with General Trade, Modern Trade Chains & Ecommerce verticals.



Neemrana, Rajasthan

INDIA PVT. LTD.

KAI INDIA PARTICIPATION IN JICA ACHHI AADAT CAMPAIGN

- Campaign started : January 2021
- Nail Clippers Donated : 50,000 nail clippers
- Participated in campaign along with IJ Kakehashi
- Activity conducted in over 1000 schools in over 20 states







kai India

Clean Nails for a healthy life

Save yourself & your loved ones from Corona virus (COVID-19)



Keep your nails clipped & clean



Wash hands from front & back, as well as between fingers for minimum 20 seconds



Cover your face when coughing or sneezing



Avoid touching your nose, eyes and mouth with unclean hands



If you have flu symptoms use face mask



visit nearby health centre or hospital if you have flu symptoms

Issued in public interest by Kai India

Kai Cares

*Washing hands with soap and water or use of an alcohol based hand sanitizer is one of the World Health Organization (W.H.O) recommended measures to help reduce risk of Coronavirus Infection. Please follow additional guidelines recommended by health authorities like W.H.O, C.D.C / local authorities

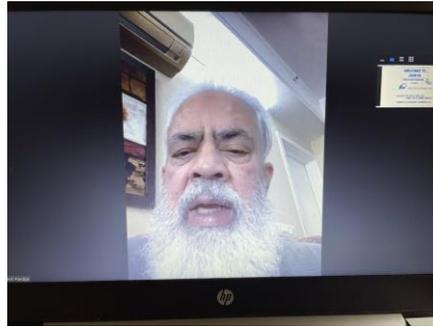
Participation in over 1000 Schools Across India



Indian School of Learning



Progressive Public School



Maharaja Agarsen School



Suva Public School



BlueBells International School



Rajkamal Saraswati Vidya Mandir



Govt Primary School bharuch



Munni International School



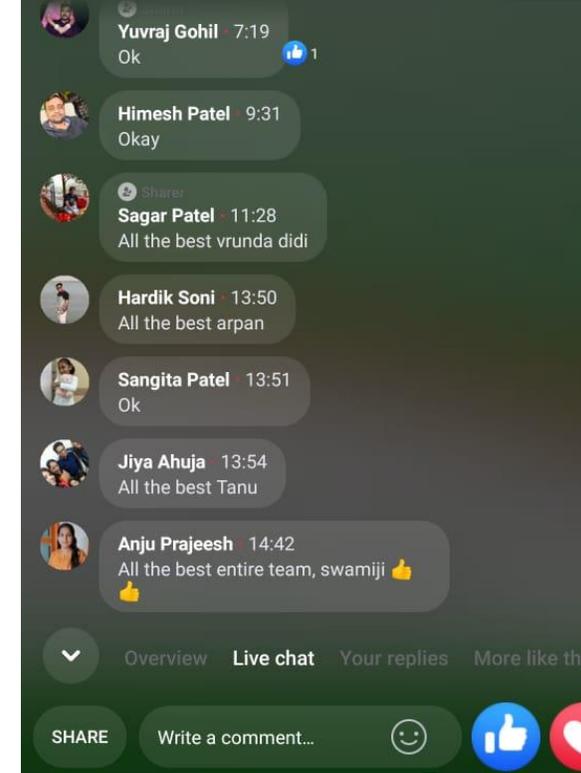
GCERT, Doctor Video



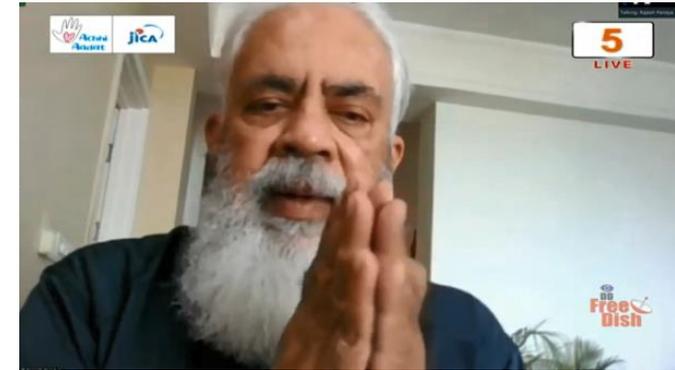
Manas International School



Sriprakash Vidyaniketan



Online Participation in Schools Educating Nail Hygiene



GUJRAT COUNCIL FOR EDUCATIONAL RESEARCH & TRAINING



- Satellite address to residents of Gujrat & kids through Vande Gujarat Channel 5
- In association with Gujarat government

月刊 **Chalo** 8
 AUG 2021
 No.125
 毎月30日発行

Social Distance.

北
 インド版
 TAKE FREE
 0円

特集

"Achhi Aadat Campaign"

アッチー・アードットキャンペーン

メールでのお問い合わせはこちら

For AD Please contact us: +91-9871921418 (English) / info@gekkanchalo.com

JICA Achhi Aadat

"Achhi Aadat Campaign"

アッチー・アードットキャンペーン

インド国民一人一人を目標に衛生啓発活動を展開中です!

製品提供
 爪切り、手洗い用品、マスク等を無償で提供しています。

主な活動内容

啓発活動
 NGOやJICA職員が村裏に行き、子どもたちに対して直接手洗いの重要性や巾着の切り方、正しい手洗い方法を教えています。

JICAが2021年1月から一年間、インドにおける新型コロナウイルス等の感染症予防を促進すべく、「アッチー・アードット(良い習慣)キャンペーン」を実施しています。衛生製品の無償提供や、ポスタームービーを配りながら、正しいマスクの付け方や、巾着の切り方、手洗い習慣の大切さをインド全土で広める活動について教えていただきました。

JICA Achhi Aadat

आइए मिलकर हाथ धोएं

आइए मिलकर हाथ धोएं

教育教材

キャラクターとコラボしながら、正しい手洗い方法の紹介ムービーを上映しています。

子どもたち向けに活用しているムービーはこちらからダウンロードしてください。(パンチカード)

チラシ配布
 ヤクルト様にご協力頂き、ヤクルトレディにより住戸一人一人に正しい手洗い方法を広めるためのポスターを配布しています。(パンチカード)

ポスターは、楽しく子どもたちに手洗いの大切さや正しい手洗い方法を学んでもらえるように、子どもたちが大好きな漫画で作成しました!

貝印株式会社 kai group

活動の様子

インド北東部ラジャスタン州で子供達に「目を健康に保つこと」の重要性や「正しい巾着の切り方」を説明するPandey氏

今回お話をくれた人
 カイ・ニコファアチアアジエ
 インド(インド人)
 Managing Director
 ラジャシュ・パンディヤ
 Rajesh Pandey

- お話ししている企業は「ベトナムのベトナム」です。インドの衛生環境を改善し、人々の健康に貢献しています。
- どのような会社ですか? 衛生用品、衛生用品、衛生用品など1万アイテムを販売するグローバルメーカーです。2016年からインドに本拠地を移し、主にカミソリ・ツメキリ・包丁を製造・販売しています。
- 貝印からは、インド仕様のツメキリやカミソリ「KAI Tsunekiri」を年間5万個配布を目標に提供させています。両の海運業を維持し、同時に、JICAの支援を受け、インドの衛生環境を改善し、人々の健康に貢献しています。また、正しい巾着の切り方を伝えるため、チラシの配布や、実際に現場に社員がいき、正しい巾着の切り方の指導などを行っています。
- 貝印は新型コロナウイルスにおいて、日本のツメキリシェアNo.1企業として衛生面から積極的に一人一人の「Myツメキリ」をお持ちいただき、爪を短く清潔に保つことを推奨してまいりました。2020年5月から、ラジャスタン州で数ヶ月学校へ合計15,000個のインド仕様のツメキリを配布するなどして進めました。その活動の一環として、参加させて頂きました。
- インドは、日本ほど衛生に対する意識が高くなく、貧富の差も大きいですが、生活のレベルによって衛生意識に対する意識の高さが大きく異なります。例えば、交際費の高さや衛生意識の高さなど、自らの手で切り、衛生面で衛生意識を高めるために、あわせて爪を切ってもらうことも、爪を清潔に保つことの重要性がまだまだ必要と感じております。
- インド政府の施策として挙げられている「CLEAN INDIA THE HEALTHY INDIA」にも共済する形で、安心安全なツメキリを配布し、一人一人の衛生意識を高めるための活動に努めております。コロナ禍において、過酷な状況下でも多くの方々にツメキリを届け、少しでもお役にたかせたいと考えております!

CHALO MAGAZINE KAI INDIA COVERAGE August 2021 EDITION

The Asahi Shimbun | Asia & Japan Watch



2021

インドに日本発「良い習慣」

コロナ下の手洗い・爪切り…

手を使って食事をする文化のあるインドで、手洗いや爪の手入れといった衛生習慣を根付かせようとする日本発のプロジェクトが始まった。その名も「ニューデリー」。「アッチー・アータト（良い習慣）」。その取り組みは――。

（ニューデリー＝奈良原健）

JICAと企業 授業や動画

首都ニューデリーから東に車で2時間ほど、人口9千人ほどのスラナ村の民家に、子どもたちが40人ほど集まった。「爪に汚れがたまっている手でお母さんが（薄焼きパンの）チャパティを作ったらどう思う？」。子どもたちは口々に、「食べたくない」。

日本の国際協力機構（JICA）が中心になって1月下旬に開いた出前授業。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、1年間の予定で始めた「良い習慣」プロジェクトの一環だ。手を清潔に保つ大切さを直接語りかけるのだという。

農村部 8割の家庭水道なし

「手を何回も洗うことがコロナに打ち勝つ最大の鍵だ」とインドのモディ首相は強調してきた。だが、水道などのインフラ整備が不十分ななかでは、衛生習慣を養えるのも難しい。

ニューデリー南部の比較的貧しい人が住む地区。主婦のカムラさん(48)は生活に使う水をどうやりくりするか悩む。週に2日はタンク車から水の配給を受けるが、蓄えておけるのは、30リットル程度。六つ分が限界だ。

排水設備が整備されていないことから、川などを流れる水は生活排水によって汚染されている。世界保健機関（WHO）によると、世界では汚染された飲み水や食べ物などが原因で起こる下痢症で、年間500万人の子どもの命が奪われている。ユニセフはせっけんを使った適切な手洗いだけで下痢症を4割減らせるとしている。

農村部では爪切りを使わない家が多い。授業に参加したアヤン君(10)の家にも爪切りがなく、爪を切るのは父親のカミソリ。「自分で使うのは怖いので、自分の歯でかみちぎってしまおう」と話す。

その中で貝印は学校などに5万個を配る。インドでの爪切りの売り上げが昨年6月以降、毎月最高を更新中で、価格は中国製の2〜4倍ながら、きれいに切れると人気だ。インド仕様として、爪の裏の汚れを取るためのピックを付けた。二つの刃が合わさる時のかみ合わせを数センチずつ技術で列の摩耗を抑え、長持ちさせる工夫もある。

「LIXILは持ち運びのできる簡易手洗い器を開発している」。

上下水道の整備が十分進んでいないインドでは、政府の2018年の調査で食事前にせっけんで手を洗う世帯は36%にとどまる。明瞭でも手洗い設備が十分でないエリアが

「洗濯にたくさん水が必要、体を洗う時に節約するよう気をつけている。手を洗う水はないけれど、消毒液をもらったから大丈夫」と話す。

家にトイレはない。地区の共同トイレができたのは3年前で、以前は旱廁に歩いて1時間かけて汲みまで行き、用を足した。子どもには家の前に新聞紙を敷き、そこでさせた。排便後にも手を洗わせない。

モディ政権は14年、清潔な家や社会を目指す「きれいなインド」キャンペーンを始め、象徴的に進めたのが、トイレを整備して屋外排便をなくすること。インドで一般的な、和式トイレのような便器を中心に約1億2千万世帯への新設を目指し、貧困家庭には1万2千ルピー（約1万7千円）を補助した。だが、首都の道はたて用を足す男性を見かけることは、今なお珍しくない。

トイレをつつはっても、排便物が地下にたまることを嫌がってトイレを使わない人が多い。LIXILでも上下水道の整備が課題となっている。



●実際に子どもの爪を切つて、やり方を説明する貝印の現地職員
●LIXILがつくった簡易手洗い器の使い方を学ぶ子ども（いずれもインド北部スラナ村、奈良原健撮影）

Kai Cares